



(第 10 期) まつもと子ども未来委員会 市への提言の報告

11月17日(日)に勤労者福祉センターで「松本子どもの権利の日」市民フォーラムが開催され、市への提言を行いました。この日は、委員27人と大学生サポーター2人が参加しました。

1 提言の様子

4月からグループに分かれて、みんなでテーマを決めて学び、意見を出し合いながら話し合いを重ねてきました。その成果をスライドにまとめ、今回、会場に来てくださった約150人の前で発表しました。市への提言という経験が初めての子も多く、発表前は緊張している様子が見られました。しかし、本番ではそれぞれが堂々と発表することができ、温かい拍手をいただきました。



2 伊佐治教育長のコメント

(1) 交通

交通については、これまでも未来委員会の皆さんから何度か提言をいただけてきました。そして私が一番気になるのは、やはり通学路のことです。菅野中学校周辺の地図を示していただき、危険な箇所を教えてくださいました。

前にも提言をいただいた際にお話したと思いますが、通学路については学校教育課を中心に警察や道路管理者と連携し、年2回点検を行いながら改良を進めています。今回改めて地図を見せていただき、子どもたちも危険箇所を気にしていることが分かりました。点検の際には、ぜひ子どもたちも一部でも参加してもらえよう願いしていきたいと思います。

(2) 商業(子どもの居場所)

タカノバについてのレポートをしてくれました。まず、タカノバを利用して自分たちの活動をしてくれたことに感謝したいと思います。とても素敵な活動をしてくれた

ことが嬉^{うれ}しかったです。

そして特^{とく}によかったのは、メディアだけでなく市民の皆さんに直^{ちよく}接^{せつ}アンケートを取ったことです。子どもたちがこういう場所で活動し、街のことを考えている姿を、市民や観光客の皆さんが見ることで、松本は「子どもが主^{しゅ}人公^{じんこう}のまち」だと感じてもらえる良い機^よ会^{きかい}になったと思います。これからもタカノバや他の場所で未来委員会として活動が続^{うれ}けてくれると嬉しいです。

(3) 歴史（松本城）

歴史は松本城についてのクイズでした。私は教育長なので答えを知っていましたが、それでも改^{あらた}めて楽しく感じました。

実は昔、文化財課課長をしていたことがあります。その時まで、松本城を天守^{てんしゅ}だけだと思っていましたが、堀^{ほり}や守^{まも}りを含^{ふく}めて「松本城」だということを知りました。例^{たと}えば、千歳橋^{せんさいばし}を南側^{みながは}から渡^{わた}り、三^{さん}の丸^{まる}に入るところから松本城だということです。

今回の発表のように、詳しい方に教えてもらおうと松本城や文化財について新^{あたら}しい見^み方^{かた}ができるようになります。皆さんも松本城以外の文化財についても知り、市民に伝^{つた}える活動^{かつどう}をぜひ続^{つづ}けてください。

(4) 自然（井戸と湧き水）

井戸^{いど}について注^{ちゅう}目^{もく}し、発表してくれたのは初めてだったと思います。街中^{まちなか}に井戸があるのはとても素敵^{すてき}なことで、観光客におすすめしたいポイントでもあります。スタンプラリーや地図^{かんぱん}、看板^{かんばん}に色を付けるなどの提^{てい}案^{あん}は非常に良いアイデアだと思いました。

また、市立博物館^{はくぶつかん}で開催^{かいさい}中の「和食展^{わしょく}」では湧き水^{わきみづ}について特^{とく}集^{しゅう}されています。松本の湧き水は硬水^{こうすい}と軟水^{なんすい}が混在^{こんざい}していて、源池^{げんち}の井戸は硬度^{こうど}が非常に高い硬水^{こうすい}だそうです。このようなことを来年度以降、さらに調べて市民にPRしてもらえればと思います。博物館、子どもは無料で入れますので、ぜひ訪^{おも}れ^{とず}てみてください。

(5) 自習室・フリースペース

QRコードを使った居場所^{しやうかい}の地図^{ちず}を紹介^{しょうかい}してくれました。この6月に予算^{よさん}をつけて市内の公民館^{せんでん}8か所に子どもたちの居場所^{ふじゅうばん}を増やしましたが、宣^{せん}伝^{でん}が不十分^{ふじゅうぶん}で分^{ぶん}かりにくいと感じていました。この地図^{ちず}は素^すば^ばらしく、もし許^{きょ}可^かをいただけるなら、市のホームページに一覧^{いちらん}として載^のせさせてもらいたいです。

また、アンケート結果^{かつよう}を活用^{かつよう}し、使いやすい場所にする取り組みも具体的に進めていきたいと思っています。皆さんの発表は本当に素^すば^ばりしかったです。

3 臥雲市長のコメント

伊佐治教育長から五つの発表それぞれについて詳しくコメントしてもらったので、私からは二つ大きなポイントとして話をさせてもらいたいと思います。

一つ目に、皆さんが身の回りで気づいたことを、松本市役所と協力して改善していく可能性についてお話しします。松本市役所では、たとえば道路の整備や管理は建設部が担当しています。また、バスや環境に関する課題については、アルピコ交通と連携しながら交通部が取り組んでいます。

松本市全体を見渡し、「ここを改善すべきだ」「こうしたい」という提案や対応を進めていますが、松本市はとても広い地域を持っています。中心市街地からアルプスの上高地までが松本市に含まれています。この広大な範囲を職員約 2000 人で管理するには限界があり、特に道路の状況をすべて確認するのは困難です。

今日、皆さんからいただいたご指摘や提言を聞きながら考えたのは、地域に住む皆さんの気づきを、できるだけ早く市役所に届けていただくことが重要だということです。松本市内には小学校や中学校が必ずあり、その周辺に住む皆さんがいらっしゃいます。そこで気づいたことを、まずは地区公民館や地域づくりセンターに伝えていただけると助かります。

地区公民館には地域づくりセンターという組織があり、その中に地域づくりセンター長が 1 名います。このセンター長は、私と直接話ができる立場です。地域で見つけた課題をセンター長に伝えることで、私の元へも直接情報が届く仕組みになっています。もちろん、すべての課題をすぐに解決できるわけではありませんが、このようにして、地域で気づいたことを迅速に市役所が把握し、対応することが可能になります。

例えば、地下道の状況やバス停の広さなど、皆さんから見て「これならできるのでは」と思う改善案を、ぜひ地域づくりセンター長に持ち込んでください。センター長は皆さんの話をしっかり聞き、内容を市役所に届ける役割を果たします。また、もし対応が不十分だと感じた場合は、市長や教育長に直接お伝えいただいて構いません。

地域づくりセンター長にとって、こうした活動は大きなやりがいにつながります。地域の皆さんの声を聞き、それをもとに改善が行われ、結果的に地域が喜ぶという流れができれば、市役所全体のモチベーションも向上します。このように、皆さん自身が地域の課題を発見し、センター長と協力しながら改善を進めることが大切だと思います。ぜひご協力をお願いします。

次に、自習室やフリースペースといった居場所の問題についてお話しします。子どもたちには、家庭や学校以外の第三の居場所が必要です。友達と自由に話したり、自分なりの方法で勉強したりできる場を増やすことは、私たちにとって重要な課題です。

地区公民館も、皆さんにとっての居場所として活用してほしいと考えています。これまで子どもたちが自由に利用しづらい公民館もありましたが、今後はもっと気軽に足を

運べる場にしたいと思っています。そこで、地域づくりセンター長と話をしたり、地域の人々と交流したりできるような環境を整えたいと考えています。

もちろん、子どもたち専用の場が欲しいと感じる時もあるでしょうし、大人や高齢者と一緒に活動する楽しさを感じる場面もあるでしょう。公民館がその両方を実現できる場として機能するよう、少しずつ整備を進めていきます。

さらに、中心市街地に子どもたちが集える遊び場が欲しいという声もあります。その実現には多額の費用がかかるため、民間企業と連携し、賑わいのある施設づくりを進めることも一つの手段です。行政としては、こうした環境を整え、企業が積極的に施設を作りたいと思えるような街づくりを進めていきます。

私たちが持つ施設をもっと子どもたちに使いやすいものに変えるとともに、民間企業とも連携し、居場所づくりを進めます。一緒に、より住みやすい松本市を目指して取り組んでいきましょう。ありがとうございました。

市長、教育長から上記の言葉をいただきました。